

心耕

和ロバイ ネネコバイ。子守唄は
いいな。親も子もウツリ。子守唄はいいな

西
光
寺
夕
報

今月の行事

○十二日(木)常例法座

法話担当：住転 午後一時～三時

○十八日(火)全戦没者追悼法要

茶園寺(島本)戦没者追悼法要・土曜 西本願寺

○二十一日(土)二十三日(日)二十四(月)日

秋李彼岸会

法話・二十一日在住転・二十三日在住転・二十四日三島寺

池上(山)の
写経会 14時～1時
三島(山)の
勉強会 五時(水)午後六時
十二日(木)午前十時

○十六日(日)午前八時より 草刈り 約一時間

○二十日(木)お慶き 午前十時より 仏具を新調の

○朝(あ) 毎朝六時半

○晨(あ) 正信偈と

○御(ご) 和讃と

○御(ご) 文は早いです

強烈な見た。記憶ととんで

しまっている。近くの水路の上を

ヒラヒラと舞い飛ぶオハグロトン

ボの映像だけが焼きついた様に残っ

ている。

十年以上を見ることがなかった

オハグロトンボ。水が豊かで綺麗

でないとき生きていけないトンボ。

それがこの根田で生き抜けてくれ

ている。

書いている中にタマムシを見た

のを思い出した。何処で見たのか

は思い出せない。暑い中で見たの

だ。畑の裏の家の傍に樺木が二本

あり。思いつくことは出来ておぼえ

ることは難しかった。

草刈りをしているとバッタが沢

山いるのが嬉しい。命がうながれ

ているのが嬉しい。命がうながれ

まことの信心の人をば

諸仏とひとしと もうすなり

親鸞聖人御消息 第二〇通

聖人のこのお便りには珍しく浄信という名の門弟からの質問のお手紙が残されています。浄信は仏教の知識もかなり深い門弟で、その知識に基づいた質問をしていて、自らの知識に自信を持っている臭いがプンプンしています。手紙の最後に「恐々謹言」(恐れながら申し上げます)と懇懃無礼とも解されかねない言葉を用いているので、証人のご返事の最後にも他のお便りにはない「諸事恐々謹言」とそのままを返されています。聖人の生身が感じられるところでは、歎異抄に「そんなことは奈良や比叡の学識豊かな立派な坊様にお尋ねなさい」と聖人が語られたことを彷彿とさせます。

まことの信心の人とは凡夫のことです。凡夫がナンマンダブに阿弥陀仏の誓いのまことを微塵の疑いもなく信じている姿をまことの信心と云い、その姿は凡夫自らには

決して見えぬもので想像することすら出来ません。ただ阿弥陀仏の尊さを頂くばかりなのです。煩惱に明け暮れる凡夫が阿弥陀仏の信心を頂くようになるのですから、どこか変わったところが出て来るのでしよう、十方無量の諸仏が夜昼常にまもるなりと云われることがそのままに嬉しくなるのです。その喜びが諸仏とひとしと云われるのです。

聖人は浄信に対して「他力と申すことは、義なきを義とすと申すなり」と厳しく書かれています。そこには「不思議」「不可思議」と繰り返して述べられています。凡夫には、「分からない」ということの大切さを知らされ、その有り難さを喜べるようになることが肝要であると教えられているように思われてなりません。

聖道門のひとはみな 自力の心をむねとして
他力不思議にいりぬれば 義なきを義とすと信知せり

ナンマンダブ ナンマンダブ

厭世

えん せい
数年前の夏休み明け、ある図書館がある
ツイトをしました。



ハラスメント
まろいど、かて
自分もや、て
いらだろつ
わす知らず
若任取

「学校が死ぬほどつらい子は図書館へいらつしやい」
生きることを厭になることを厭世観といひます。財産

や才能の貧苦に悩み、ままたらぬ恋に悩み、近親者の死
に悩む。これらの悩みは、時代や国境を越えて共通のよ

うです。誰にでも訪れる悩みを仏教は体系化しました。

日本の浄土教の始祖源信僧都の著書『往生要集』に

は、人の世には三つの厭相があるとされています。不浄・
苦・無常です。私たちの肉体を構成する骨・肉・内臓は、

思うようならず、このいのち尽きれば腐敗していく不浄

なものである。この肉体は老いを感じたり病気になるた

りと生老病死の苦にさいなやまされる。無常の理のこと

く栄枯盛衰を繰り返す。常なるものは無い。

こうして体系化することにより、仏道を志す重要な働

きかけとなりました。「厭離穢土 欣求浄土」浄土教の

大事などころは、この世を厭うばかりではありません。

この厭う世において、どうかしてすくいたいと阿弥陀

如来が常に願っておられる。願いの中に生かされている

ことに気づくのがさらに大事などころです

こんなところに

仏教用語

用教仏近
介紹を
して語
います。

演説

えん ぜつ
演説を広辞苑で調べると、
①述べ説くこと。説明するこ
と。



②多くの人々の前で自分の主義・主張や意見を述べること。

現代においては②の使われ方がほとんどではないでしょう

か。福沢諭吉と慶應義塾の人々が、「スピーチ」を演説と訳

したことから明治以後に②の使われ方になったようです。そ

れ以前は主に①の使われ方でした。仏教においても①の使い

方です。演説の語源が違います。

演説(仏教)・・・ニルデーシャ(Ṇirvāṇa, サンスクリット語)

の訳で、教えを演べ説くこと。法(真理や道理など)を人々

にわかりやすく説き明かすこと

江戸時代までは、自己の主張をすることではなく、教えを

演べ説くことの意味で使われました。仏教の教えは、自己や自

分に固執することを否定します。自分というものですら、思

うようにままたらないからです。

福沢諭吉さんは素晴らしい功績を遺した方ですが、「スピー

チ」演説「サンキユウ有難う」の訳は、

本来の意味とはちよつと違っていたので

はないかと思ひます。翻訳の難しいところ

です。



兵戈無用（ひょうがむよう）

『仏説無量寿経』下巻の釈迦の指導や勧めの最後に、如来が巡り歩く地は「天下和順し、日月清明なり。風雨時をもつてし、天災や疫病が起らず、国豊に民安くして、兵戈用いることなし。人々は徳をあげめ仁を興し、つとめて礼儀と謙譲を修す。」（和順章と言ひ本山での元且早朝のお勤め）とあります。ここでは仏道が行われるところでは何事もなく平安で武器などを使用する必要がないと語られています。そんなこと無いだろうと現実を突きつける人がおられます。現実としてはその通りかもしれませんが。しかし私たち人間は苦海に沈んだままでいいとは誰も思いません。であればこそ夢や理想を掲げないと生きていけないのです。現実を精査し、その現実を否定した先に目標が置かれ、この目標が夢や理想なのです。この最終目標が「兵戈無用」です。この目標に至る前提が「天下和順しく民安くして」であり、これを成就していく手続き・方法・道が仏道なのです。仏道とは、法蔵菩薩が人民の苦海を觀察し五劫思惟のうえ救わんと願いを込めた名を完成した「南無阿弥陀仏」のことなのです。この謂われを御聴聞するのが浄土真宗の「徳をあげめる」の御聴聞をかさね「兵戈無用」を理解したならば、感謝感謝が涌き上がりご恩報謝の「南無阿弥陀仏」が称えられ「徳をあげめる」のです。これがこの段の意趣です。

余談ではありますが、日本では八月十五日を終戦記念日とっております。終戦ではなく敗戦と言うべきところに日本政府の意識の問題が残ります。この日はポツダム宣言を受け入れられますという天皇の詔が玉音放送という形で国民に向けて発せられた日でもあります。世界では日本が降伏書面にサインした九月二日又はその翌日を以て終戦若しくは戦勝記念日としています。時間的差がありました。この時間差が北方四島の問題やシベリヤ抑留等の事

件となつていきます。サッカーWCで言えばドーハの悲劇や先日のベルギー戦の残り一分半の逆転負けなどロスタイムに日本人は弱いようです。いずれにしろ無条件降伏し「兵戈無用（戦争放棄）」を宣言したのが八月十五日です。大切にしたい日です。

また毎年九月十八日には、千鳥ヶ淵で浄土真宗本願寺派の主催により国会議員や各国の大使等に呼びかけ、門主が参列し全戦没者の追悼と平和記念式典が行われています。西光寺では毎年参加をいたしております。坊守の手作り弁当も楽しみの一つです。残暑厳しいときではありますが、一度は参加されることを希望いたします。多くの命の上に今が在ることを感謝したいからです。

お隣の靖国では、官軍又は日本軍に所属した兵隊だけを国に貢献した犠牲者として祀って居りますが、本当に国に貢献したのは誰だったのか、本当に犠牲となったのは誰だったのかを今一度問うのではないかと思います。兵隊さんやその家族を含めた一般の人々ではないでしょうか。軍隊を陰で支えさせられた女や子供或いは国を信じて支えた人々です。善良な一般市民を護るといふ義務あるはずの軍隊が一億玉砕と言ひ出して善良な一般市民を巻き込みました。挙げ句の果てに原爆（2ヶ所）や空襲（106ヶ所）で財産や家族を奪われるという数え切れない多くの悲しみを出してしまつたのです。そんな軍人の戦死を英霊だと美化していること事態がおかしな事なのです。天皇も寄りつかない処にこのこ出かけていく不可解な政治家がいます。遺族会の票がチラツクのでしようね。人は死んだら霊に成るのか仏に成るのか私には分かりませんが、何だか判然としない霊として彷徨っているよりは、念仏往生で直ちに仏に成る方が有り難く思います。

最後ですが『教行信証』「化巻」に『正法念経』から「人民安樂にして兵戈戦（しゆ）息す。」と引用した親鸞聖人のお心持ちを源平の戦と併せ、真宗を開示するご苦勞を偲びたいものです。

法座案内

十二日(水)

定例法座

十三時〜十五時

法話：住職「まことの信心の人をば 諸仏とひとしと もうすなり」

親鸞聖人『御消息』より

今月の法話カレンダーより、住職がわかりやすく阿弥陀如来の話をします。

二十二・二十三・二十四日

秋季彼岸会

十三時〜十五時

彼の岸、極楽浄土を思わさせていただく時間、いのちを考える時間、阿弥陀如来のすくいを考える時間、それが彼岸会です。三日間勤めまです。家庭参りもしています。

*家庭参りは直接お寺に申込んで下さい

日付 お勤め 法話

二十二(土) 後夜礼賛 若住職

二十三(日) 晨朝礼賛 住職

二十四(月) 日中礼賛 三島さん

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・車取り

十六日(日) 八時〜九時

毎月第三日曜です。是非ご協力を！

・写経会

十四日 十三時〜 いつでもどうぞ

・壮年会・婦人会主催の勉強会

三島さん講師。教えを知りたい方は是非！

壮年会 五日 一八時〜 十月三日

婦人会 十二日 十時半〜

・門信徒会費 口座振込について

振込番号です ゆうちよ銀行

西光寺門信徒会 00180-0-713424

・西光寺ヨガ

脱力と呼吸がメインのヨガです

毎週木曜日 十五時〜十六時 五百円

・おみがきのご案内

お彼岸の前に、仏具を磨きます。簡単な作業です。ぜひお手伝いください

二十日(水) 十時〜十二時 昼食付

・千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要参拝者募集

悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で勤められます。西光寺から車で向かいます。

主催 西本願寺

日にち 一八日(火)

西光寺集合 十時 解散 十六時

参加費 二千元(懇志として)

締切 十二日(水)まで

・「たすけあい運動募金」のご案内

「大阪府北部地震」及び「平成30年7月豪雨」において築地本願寺で義援金を募っています。西光寺に直接預けるか、左記の振込をご利用ください

銀行振込をご利用の場合

みずほ銀行築地支店

普通 1614721

名義 宗教法人築地本願寺支援金

シユウ) ツキジホンガンジシエンキン

住職多感

とにかく暑かった。何処も彼処も暑かった。西の方はまだ暑い。ぶどう狩りでバスのガイドさんが「こんなに暑い勝沼は初めて」と言っていた。二年後、この暑さの中でオリンピックをやるといふ。気象庁でさえ災害と思つて備えた方がいいといつていた。

いろんな人に聞いてみた。今度のオリンピック、こんな時期にやるつていうのは正気の沙汰ではなからう。全員その通りと答えてくれた。やつぱり皆おかしきことをやっていると思っているのだ。

なのに大メディアは暑さ対策ばかりを言うばかり。先の五輪は天高く馬肥ゆるスポーツの秋にやったではないか、どうしてそれが出来ないのか。公としての説明、詳しいことはまだ聞いたことがない。どういふわけでこんな時期にやるのか、総理でも都知事でもJOC委員長でも誰でもいいからはっきり教えてほしい。都知事の打ち水云々、B29を竹槍で突き落とすといった昔とまるで変らぬバカらしさに開いた口が

塞がらない。藤原弘達さん何か言つてやってくださいよ。

三・一一以降、毎年のように七月に大きな災害が起きている。その災害を脇に置いて騒ぐ。バカ騒ぎにし過ぎない。福島では汚染水を薄めて海に流すことの是非を問う形でことが進められている。復興がほど遠いことが明瞭に知られてくる。大地震・大津波によつて甚大な被害を受けたことに対して各国から早速の支援が、第一原発から汚染水を意図的に海に流したニュースが流れて急速に冷えたことを忘れたのか。この国の美しさをぶち壊す行為なのだ。そういつたことを平然とやりながらのオリンピック騒ぎ、狂気の沙汰、どうすればまともになるか考えた。

結論、国旗の掲揚・国家の演奏を止めればよい。少しは熱も冷めるだろう。

2020オリンピック、2020円の入場券が売り出されても買わない。秋にやるんだつたら買つてもよい。私は秋でも行かないと思う。スポーツは何でも大好きなんだが。

十月の行事

○十二日(金) 常例法座

○二十八日(日) 日曜法座

・写経会、九月の会でお伝えします。

・勉強会 三日・六時
十日・十時

・草刈り 二十一日(日) 八時

・間法会 九日(火) 築地本願寺

十人乗りワゴン車でいきます。

発行

浄土真宗 本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三二

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP <http://saikohji.net>

MAIL saikohji@hb.tpl.jp

8時半迄